

# かたらんね〜

6回目は、日本伝統武道の「なぎなた」です。女性が多いと思いきや、最近は男性が増えているとか。体育協会の「須恵なぎなたクラブ」取材しました。

## 第6回 なぎなた部

### 活動状況は

林琴枝先生と清水美佐子先生を中心に約20名で活動しています。5歳の幼稚園児から76歳までの方々が稽古に励んでいます。練習は、須恵中学校の武道場で金曜日の午後7時から8時30分まで。須恵町のみならず、町外からの参加者も多いのが特徴です。須恵町は「とびうめ国体」で、なぎなた競技の会場だった縁から、なぎなたに理解と親しみをもった町との印象があるそうです。

### どんな競技

なぎなた競技は、“試合”と“演技”の2つの競技がありますが、どちらも竹刀に似た「なぎなた」（競技用なぎなた。2m以上ある！）を使います。

試合競技は二人の選手が、面、小手、胴、脛、咽喉を確実に早く打ちこんで勝負を競います。

演技競技は全日本なぎなた連盟の形などを、二人一組の選手が演じ、技の優劣を競います。なぎなたの技の向上をはかるとともに、正しいなぎなたの普及発展を目的として行われています。

### 大会は

須恵町少年武道大会にもなぎなたの部があります。他にも、若獅子旗大会、中央区長杯、笹の会大会、県民体育大会などに参加しています。

### なぎなたの魅力

白の道着に袴。凛々しいいでたち。相手への思いやり。礼を重んじる気風。いいところたくさんあります。皆さんが言うには「姿勢が正される！」（ボケ防止にも）

長い歴史の中で、戦闘の技術から武道としての武家のたしなみへ、精神性が高められてきた「なぎなた」。戦後は競技化され、現代武道として確立しています。あなたも始めてみませんか？

### 議会広報を読んで

表紙がいいですね。子供目線で読んでしまいます。須恵町の情報源です！との感想をいただきました。



大会に向けて



力を合わせて



林琴枝さん(左)と清水美佐子さん(右)

皆さま、コロナ禍で健康にお過ごしでしょうか？  
10月22日現在で、世界の感染者数は、4110万702人。死者数は、113万236人。日本では9万4524人が感染し、死者数は1685人。福岡県では5169人が感染し、死者数は100人と報告されています。  
まだまだ、予断を許さない状況にある中、経済も回っていかなくてはならないという難しい判断をしていかなければなりません。  
幸いにして、日本という国は、他人に迷惑をかけないことを徳とした道徳の精神が息づいていて、うまい具合に「自助」「共助」が出来ていると思えます。残る「公助」に対し、私たちに出来ることを考えていかなければならないと思えます。  
未知のウイルスに対し、新しい生活様式を受け入れ、社会環境の変化に対応できるように頑張りましょう。コロナに負けるな！

稲水辰己

### 編集後記

#### 発行責任者

議長：松山 力弥

#### 広報特別委員会

委員長：田ノ上 真

副委員長：今村 桂子

委員：三角 栄重

委員：稲永 辰己